

平成 21 年度推薦入試（第一部商経学科）解答例

問 1. (40 点)

【採点のポイント】

- ・ 当初のメールの利点（選択の自由など）が説明できていること。
- ・ 最近の携帯電話でのメールの利点（リアルタイムな送受信や交友関係における強い促進効果など）が説明できていること。
- ・ メールの利点という焦点からずれた記述を行っていないこと。
- ・ 一定の文章量で記述できていること。

【解答例】

当初、メールは電話とは異なり、受け取り手側に選択権の自由があり、相手の行動も生活の空間も障害せず、しかもいつでも好きな時に送受信ができる点に大きな利点があった。ところが、携帯電話でのメールサービスがはじまって以降、その状況が変わった。メールも電話と同じように、ほぼリアルタイムで相手に送信することができ、しかも強制的に受信を認知させるようになってきている。このことは、移動中に集合場所を決める際には便利であり、また若者の恋愛や交友関係においては、強い促進効果を育んでいるとも伝えられている。(243 字)

問 2. (60 点)

【採点のポイント】

- ・ 自分の主張を論理的に表現できている（結論が明確になっている）こと。
- ・ 自分の主張とは異なる意見についても言及し、客観的な視点から問題を論じていること。
- ・ 問題文 A、B の内容を踏まえているか、引用しているなど、出題の意図を理解していること。
- ・ 問題文では触れられていない、新たな事例を盛り込むなど、社会問題に関して記述していること。（例えば、出会い系サイト、ネットショッピング、GPS 携帯など）
- ・ 問題文とは異なる論点をあげ、携帯電話に関する問題をさらに幅広くとらえようとするなど、新たな論理を展開していること。
(例えば、利用方法だけではなく、携帯電話自体のハード的な視点から論じるなど)
- ・ 一定の文章量で記述できていること。

【解答例】

多機能な携帯電話が普及することによって、私たちの生活が便利になったことは間違いない。問題文 A にあるように、携帯電話によって待ち合わせが便利になっただけではな

く、私たちの交友関係は広がり、ネットショッピングやGPS機能、個人のブログの閲覧などを利用して、多彩なコミュニケーションが出来るようになった。しかしその反面、携帯電話の呼び出し音が周りの迷惑になったり、問題文Bのように、会話中の友人が携帯電話に應對しているのを見ると、自分が無視されたような気がして、何かしら不機嫌な気分になるのも確かである。

また、出会い系サイトを悪用した犯罪のように、利用する人の使い方によって、便利な道具は人を不幸にする道具に変わってしまう。道具がどんなに進化しても、それを使うのは人であり、悪意を持って利用すれば、良好なコミュニケーションは簡単に破壊されてしまうのである。

携帯電話に代表されるように、技術の進歩によってコミュニケーションの方法は大きく変化したかもしれないが、その基本は変わっていない。それは、自分がコミュニケーションしている相手に対して、不愉快な思いや嫌がることをしないよう、心遣いをもって接することである。

そして今大切なことは、道具がますます進化・発達している中で、それを使いこなしながら、良好なコミュニケーションを築いていくために大事なことは何かをよく考えて、行動していかなければならないことである。 (603字)